

# 名理会だより

第116号

<https://meirikai.wp.tcp-ip.or.jp>



名理会 HP

令和7年9月26日（金） 名古屋市理科教育研究会

事務局 広報係

## 「夏季研修会」が開かれました！

8月4日（月）、新郊中学校において、令和7年度名古屋市理科教育研究会の夏季研修会が開催されました。

全体会では、國嶋先生（東港中）、林先生（桜丘中）、山田先生（正保小）、寺本先生（楠小）の4名の先生方が、実践の発表を行っていただきました。その後、義務教育課担当課長中村浩二先生から4名の実践についてご指導・ご講評をいただきました。



### 國嶋慎吾先生（東港中学校）

「見通しをもって、事象を解明しようとす  
る生徒の育成」

探究的な学びを促すため、仮説・実験・考察の過程をフローチャートで可視化し、ICTを活用した情報共有による振り返りを行った。



### 林亮佑先生（桜丘中学校）

「ScTN 質問紙を活用した理科学習～生徒  
の気付きに基づく授業改善～」

探究的な理科学習を促すため、自己評価型アンケート「ScTN 質問紙」を活用し、個人・クラスの学びを可視化した。



### 山田啓太先生（正保小学校）

「ウェルビーイング的思考を基に自己調整  
する力を育てる理科学習」

自己効力感や達成感などのウェルビーイング的思考を基に、自己調整する動機付けを行い、主体的に学ぶ力を育む実践を行った。



### 寺本充孝先生（楠小学校）

「主体的に理科学習に取り組むことができ  
る児童の育成」

主体的に理科学習へ取り組む力を育てるため、順序立てて考えるワークシートを活用し、児童が自分の疑問を追究できるよう実践を行った。



### 中村浩二先生より（義務教育課担当課長）

今の指導要領が示されて小学校は5年、中学校は4年が経過し、次期指導要領に向か、今が折り返しの時期である。主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善によって、児童生徒の資質・能力が着実に伸びているかを検証する大切な時期である。4名の先生方による研究発表はこの視点に即したものであり、今後は実践効果のデータ提示による検証と、他への展開可能な報告の価値が問われる。

それぞれの分科会では、ナゴヤ学びのコンパスでも中心的に取り組むべきテーマの「夢中で探究する」や「自ら学ぶ」と行ったキーワードを基に、様々な提案をしていただきました。多くの方からの質疑や、それに答える提案者の考え方、また、司会者や助言者による助言などにより、提案者も参加者も新たに学ぶことが多く、実りの多い会となりました。

区分	提案者	研究テーマ
第1分科会	松岡 樹生 先生 (菊住小)	「自ら学ぶ力」を育てる理科学習 ～マイプラン学習を通して～
	吉岡 隆 先生 (はとり中)	自律して学び続ける理科学習 ～単元内自由進度学習を通して～
第2分科会	土山 真有美 先生 (陽明小)	仮説を発想する力を育成する理科学習
	林 研太 先生 (名南中)	夢中で探究する姿勢をもった生徒の育成
第3分科会	水谷 亮祐 先生 (栄小)	夢中になって主体的に探究し続ける子どもの育成
	宇佐美 健之 先生 (桜田中)	夢中で探究する生徒の育成 ～デジタル探究カードと生成AIの活用を通して～
第4分科会	杉山 翔一郎 先生 (大生小)	見方・考え方を働かせる理科学習

## 実践研究部の活動 「授業公開」について

- 日時 10月21日(火) 5限目 13:00~13:45
- 場所 热田区 日比野中学校 本校
- 内容 授業公開 13:00~13:45 事後検討会 13:55~
- 学年および単元 中学校2年生「生物の体のつくりとはたらき」
- 授業者 日比野中学校 佐藤智久 先生



本実践では、生徒が理科の授業の中で自ら問い合わせを作り、探究していく姿を目指しています。

まず、「問い合わせ」をいかにして作るかが鍵です。生徒が単元の内容を元に、解決可能な「問い合わせ」を作れるよう、手立てを工夫します。そして、探究学習の流れを生徒自身が意識して探究を進め、振り返るというプロセスを通して探究の基礎を学べるようにするとともに、理科の学習内容の深まりをねらいます。

この授業では、それまでに蓄積してきた疑問を元にした「問い合わせ」の場面をご覧いただく予定です。

実践研究部は中学校理科に携わる会員のニーズに寄り添った授業づくりのサポート、授業力向上を目指して活動しています。1学期には3回、秋の授業公開に向けた準備・検討を中心に進めるとともに、日ごろの理科授業の相談など、授業実践について相互に学び合いました。活動の様子は、名理会のHP(右上の二次元コード)の「名理会実践研究部『みんなで創る理科授業』」に紹介しています。実践研究部会に参加してみたい・授業公開を参観したい方は、これまでの参加者に直接連絡するか、こちらの申込フォーム(右下の二次元コード)にて参加表明してください。日時など、詳細をご連絡します。

